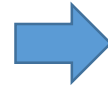


雨水貯留管建設工事について

1. 工事費の増額

雨水貯留管建設工事については、日本下水道事業団と委託協定を締結し工事（R3年度～R6年度）を実施している。基本設計時からの詳細設計実施に伴う設計条件・数量確定や物価上昇に伴い、総工事費が増額となる。

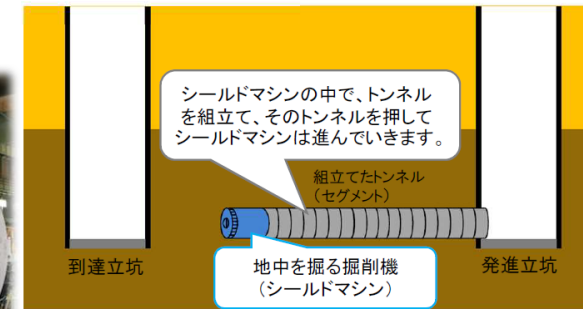
当初計画額 約73億円



変更額 約86億円



■ シールド工法イメージ



2. 進捗状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、シールドマシンの製作工程が影響を受けているが、令和6年度末完成に向け、概ね順調に進捗している。

<令和5年7月時点>

- ・シールド工事に必要となる発進立坑の設置工事中
- ・工場にてシールドマシンの製作完了

<今後の主な予定>

- ・令和5年度 シールド工事着手（12月末）
到達立坑の設置
- ・令和6年度 ポンプ施設等付帯施設の整備

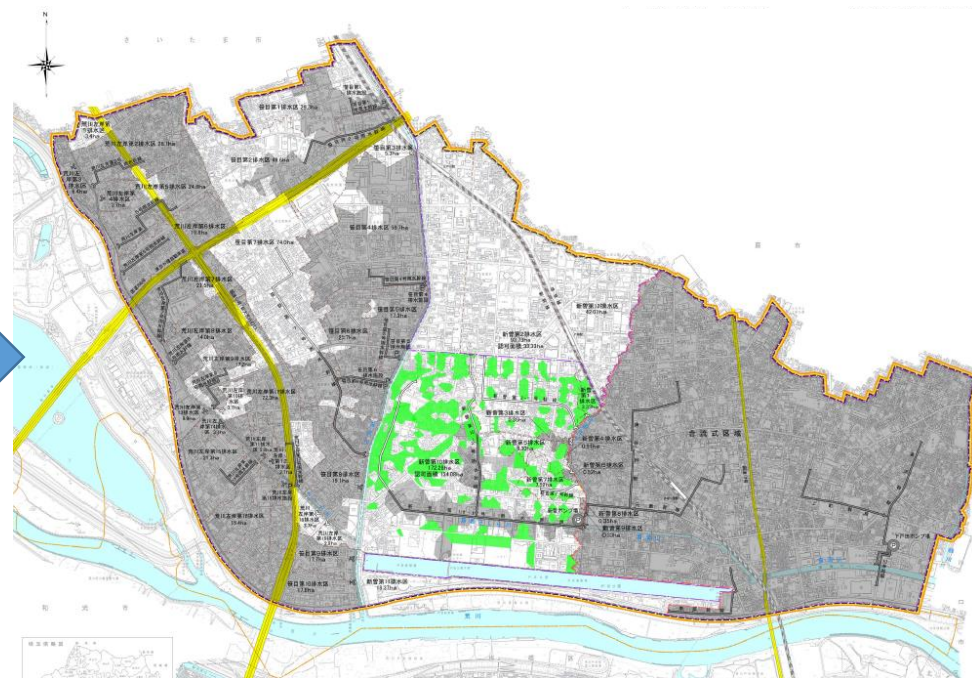
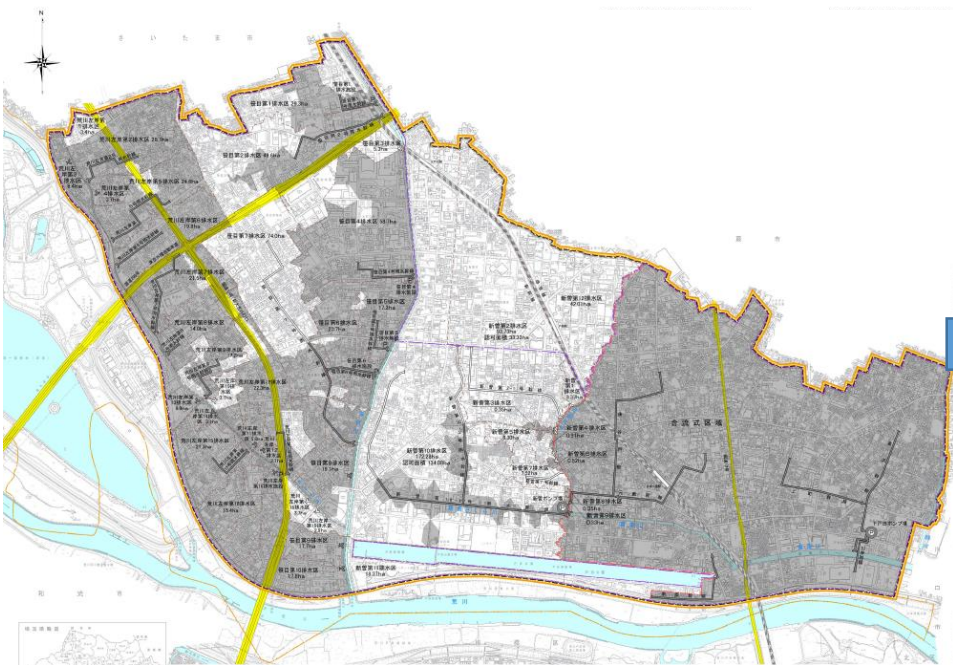
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 期 工 事	工事の準備/ シールドマシンの製作		■		
	発進立坑の設置		■		
	シールドマシンの組立/ 掘進準備			■	
2 期 工 事	シールド工事			■	
	到達立坑の設置			■	
	付帯施設の整備				■

1. 整備率の算出

下水道事業計画（雨水）において、ボックスカルバートや道路側溝の整備計画を位置付けている。新曽地区における整備率については、ボックスカルバートの布設箇所のみを計上していたが、令和4年度に道路側溝の現況調査を実施した結果、既に計画断面が確保されている側溝が多々布設済であることを確認したため、これらを令和5年度に精査し、今後の雨水整備率に算入する。

従前の整備状況図

側溝調査を反映した場合の整備状況図



令和4年度末整備率（※土地区画整事業地区内を除く）
従前 72.4% (834.42/1,152.39ha)

（※緑着色部が側溝調査を反映したもの）
概算値 約77.6% (894.29/1,152.39ha)